

## 登山学校第9回～久住雪山講習～

【報告者】E入

【日時】2017年1月21～22日

【天候】曇り/雪

【参加者】T・K（講師B）、E入

### 《コースタイム》

1/21（土）：18:00 沢水キャンプ場集合→テント泊（冬山生活技術講習）

1/22（日）：7:25 沢水キャンプ場発→8:25 朽網分れ→11:15 鉾立峠→12:55 白口岳頂上→迷子→14:10 白口岳→15:30 鉾立峠（先発・後発に分かれる）→17:10 着

### 《 報 告 》

21日：この週末は寒波で激寒でした。共同装備を班毎に振り分けてから、7つのテントに3～4名ずつ分かれて設営。ポールを通す時に雪に付けない事、細引きにピックルをかける事など教わりましたが、風が強くて寒い…必死にやってたら気がついたら皆で力を合わせてテントが出来てました。

その後、各テントごとに講習。まずはお湯を作る用の雪を集めてくる事になり、私ともう一人で雪を探しに行きました。雪が浅くて、深くすくうとすぐ土が見えるので、表面を削るようにひたすらかき集める。なんか不味そうだけど沸騰させればいいやと我慢。テントに戻ると早速講師の方から色々指摘を受けました。テントに入る時は声がけする、後ろから入ったら入りやすい、荷物は端に寄せて中央は煮炊きするスペースを作っておく、などなどテント内での動き方を丁寧に教えていただきました。

お湯を沸かした後はテント内が暖かく、早々に就寝。講師の方はシュラフカバーのみで、ダウンを足に巻いて寝るとの事で、寒いと嘆いておられました。私ともうひとり受講生はそんな勇氣はなく普通にシュラフ…おかげで安眠できました。

22日：朝は5時に起床して共同のパン4つとコーヒー2杯分。お湯作りをしていたらあつという間に6時がすぎ、テントの片付けやパッキングしていたら皆揃って集合時刻の7時を過ぎ注意されてしまいました。次回の蒜山ではもう少し早めに動かなければ。7:25頃、各班ごとに出発。私は今回は初、K下講師と同じ班。いつもハイキングコースの方を主に見てらっしゃって直接指導いただく機会があまり無かったので、貴重でした。

そして出発早々、すでにバテそうな予感が…。朽網分れまではなんとか順調だったものの、佐渡窪前後でバテてきて、K下講師が、遅いとか13時までには白口に着かなかつ

たら引き返すとか仰っていて、もう必死になって歩きました。途中途中で行動食の摂取が足りなかったかもしれません。いつも言われてはいたけれど、ポケットの取り出しやすいところにもう少しすぐ開封できるような行動食を入れておくべきでした。

途中でアイゼンを装着した際は、前週で練習していたおかげで割りともたもたせずに装着出来たと思います。ただ、やっぱり足が重い…慣れないです。

厳しいながらもK下講師や班のメンバーに終始助けられました。凍傷になってないかこまめに確認してくれたり、(K下講師の) 歯型付きどら焼きを恵んでくれたり、フードやザックがずれたら後ろの方が調整してくれたり。なんかもう仲間の存在が有難すぎて、涙か汗か鼻水か雪かよく分からなくなっていました。

白口岳には、12時55分着。ギリギリ。K下講師から「間に合ったやん」って言われてひとまずホッとしました。写真撮影をして、すぐまた出発。その後、全体で道迷いはじめて、予定では稲星山経由のはずでしたが、引き返す事に。再び坂道に戻り白口岳へ…。白口岳山頂を経由した後は、来た道に戻りましたが、白口岳付近の傾斜が少し急。アイゼンつけて岩を降りるのが怖くてつい設置されていたザイルを持ってしまい、ザイルを持つなど注意されました。怖いんですけど…！でもなるべく両手でホールドを確認しつつゆっくり下りました。

途中でアイゼンを外した後、配車の方々等が先発して、残りは後発組。カーブを下っていると、後ろを進んでいたK下講師がふいに斜め前方に現れて雪玉をぶつけてきました、よけたけど。私の顔面にガチ狙いしてきたのは今冬一番の思い出になりそうです。17:10に朽網分れに着き、そこで終了となりました。

次回は蒜山。不安だらけですがせめてなるべく班のメンバーの足を引っ張らないよう頑張ります。

